

背景 減少や社会のグローバル化、情報化、経済や生活環境の変化、価値観の変化・多様化の進行
⇒ 本県の教育を取り巻く環境の変化

目的 変化する社会に対応するために必要となる力を身に付け、未来を切り拓き、豊かな人生を送るとともに持続可能な社会の創り手となることができる人財の育成

将来の高等学校教育を見据えた「魅力ある高等学校づくり」の方向性

第1 基本的な考え方 (P1)

1 検討に当たっての視点

- 急激に変化する社会における本県ならではの高等学校教育
- 子どもたちの夢や志の実現を県全体が一体となって支えるための環境づくり

2 (1) (2) これからの時代に求められる力と人財像

- 知・徳・体の調和のとれた生きる力や主体性・コミュニケーション能力、自己肯定感、多様性を尊重する心、郷土を愛する心等「不易な力」
- 課題発見・解決する力や地域を支える心、大志を抱き世界へ挑戦する心、主体的に未来社会を切り拓く力等「子どもたちの夢や志に応じた力」
- 柔軟性や創造性など「変化の激しい社会において求められる力」
- 青森県や地域に貢献できる人財、イノベーションを創出する志を持った社会を牽引できる人財、職業の多様化に対応できる人財

2 (3) 高等学校に求められること

- 生まれた場所や家庭環境にかかわらず、全ての子どもたちに一定の水準を満たした教育によるウェルビーイングの実現と、誰一人取り残さないきめ細かな教育の提供
- 全ての子どもたちが安心して学べる環境づくり
- 各校の特色を生かし多様な主体と連携した教育活動全体の更なる魅力化
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 探究的な学び、STEAM教育等の充実 ○全ての生徒に対するキャリア教育の充実
- 学校・学科の魅力づくりと、それに向けた様々な教育制度等の下での環境整備

学校・学科の充実 (第1分科会)

第2 これからの時代に求められる高等学校の魅力づくり (P4)

1 教育活動の更なる充実

- (1) 各校の特色を生かした取組の推進
 - ・各校の役割に応じた特色化・魅力化
 - ・魅力ある取組の推進、全国からの生徒募集
- (2) ICTの活用による教育活動の充実
 - ・遠隔授業の課題も踏まえたICTの有効な活用
 - ・ICTの有効活用に向けた教育体制づくり
- (3) 特別な支援を必要とする生徒への教育の充実
 - ・全ての学校における特別支援教育体制づくり
- (4) 小規模校における教育活動の充実
 - ・小規模校同士や地域との連携、遠隔授業

2 多様な主体との連携・協働

- (1) 高校間・学科間の連携
 - ・重点校、拠点校の取組内容の充実や見直し等も含めた各校・各学科の実情に応じた連携の推進
- (2) 小・中学校との連携
 - ・連携の目的や対象の明確化
 - ・コミュニティ・スクールの活用による一体的連携
- (3) 大学等との連携
 - ・小・中・高・大学の円滑な縦の接続
- (4) 地域・関係機関等との連携
 - ・連携体制づくりや取組の更なる推進

第3 これからの時代に求められる力を育む学科等の魅力づくり (P13)

1 全日制課程

- 時代の変化等に対応するため土台となる基礎的・基本的な知識・技術の習得
- 新たな時代を見据えた学びの提供に向けた学科等の充実や改編・新設等の検討

(1) 普通科等

- ・普通科における各校の実情に応じた魅力化、日々の授業の充実
- ・普通科系専門学科の専門性を生かした教育内容の更なる魅力化

(2) 職業教育を主とする専門学科

- ・地域や関係機関等と連携した各専門分野を取り巻く環境の変化に対応した実践的な学びの充実

(3) 総合学科

- ・各校の実情に応じた多様な教育課程の編成など、総合学科の特長を生かした学びの充実による教育内容の更なる魅力化

2 定時制課程

- ・多様な学びの機会の提供
- ・特別支援学校との連携や専門スタッフの活用による教育体制の充実
- ・関係機関等と連携したキャリア教育

3 通信制課程

- ・多様な学びの機会の提供、スクーリングの負担軽減
- ・特別支援学校との連携や専門スタッフの活用による教育体制の充実
- ・関係機関等と連携したキャリア教育

第4 学校・学科の魅力づくりに向けた教育制度 (P28)

- 各教育制度を活用した教育内容の充実や情報発信
- 導入校の取組状況を踏まえながら拡充・見直しを含めた今後の在り方の検討
- 時代や社会の変化に対応するための新たな教育制度の導入の検討

1 中高一貫教育

- ・併設型中高一貫教育
- ・中等教育学校
- ・連携型中高一貫教育

2 全日制普通科単位制

3 総合選択制

(その他)

- ・コミュニティ・スクール
- ・入試制度等

学校配置 (第2分科会)

第1分科会での検討過程で挙げられた第2分科会の検討に関連する事項

- 学校配置の方向性の検討に当たっての視点
- 学校規模
- 学級編制
- 定時制・通信制課程の配置
- 小規模校の配置
- 通学手段の確保・通学支援等
- 再編の方法
- 教員等の配置
- 私立高校との関係